

# 平成30年度 東京藝術大学美術学部 科目等履修生(一般) 募集要項

特定の研究目的をもって、本学部開設科目の履修を希望する者に対して、授業及び研究に支障がない限り本要項の定めるところにより、選考のうえ履修を許可する。

## 1. 出願資格及び履修範囲

- (1) 高等学校卒業以上の学歴を有する者。
  - (2) 前項と同等以上の学力があると大学が認めた者。
  - (3) 履修できる科目は、別紙開設科目のうち、2単位以上12単位以内に限る。
  - (4) 実技科目の履修は認めない。
- ※ 外国人志願者は、授業履修に支障のない日本語能力が必要である。

2. 募集人員 若干名

3. 選考方法 書類審査及び面接

4. 単位の認定 授業科目を履修し、所定の試験等を受け、合格した者には所定の単位を与える。  
(同一科目・同一内容の単位再加算はしない。)

5. 在籍期間 1年間 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

## 6. 出願方法等

① 出願方法	郵便受付のみ	
② 受付期間	平成29年11月24日(金)～平成29年12月14日(木) ※郵便局消印がこの期間内のもの。	
③ 提出書類	(1) 科目等履修生願書	本学部所定の用紙。
	(2) 最終学校の卒業証明書	本学部出身者は不要。
	※(3) 戸籍抄本1通(コピー可)	※ 改姓して証明書と現在の氏名が違う場合のみ提出。
	(4) 健康診断書	本学部所定用紙又は医療機関が発行する診断書で所定の事項が記載されているもの。
	(5) 写真1枚	受付期間前3ヶ月以内に撮影したもの(縦4cm×横3cm)を願書所定欄に貼ること。
	(6) 小論文	履修希望科目ごとに研究の目的等を2,000字以内にまとめ科目名、氏名を記載する。
	(7) 入学試験検定料振込金 受付証明書提出用紙	検定料振込後に銀行から返却される「C票」を貼付して提出。 (次項「7」参照)
	(8) 返信用封筒	角型2号封筒に住所・氏名・郵便番号を明記し140円切手を貼ったもの。
④ 出願手続	提出期限内に、『美術学部科目等履修生願書在中』と朱書し、書留郵便で送ること。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>【送付先】 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学 美術学部教務係</b> </div>	
⑤ 面接	履修希望科目担当教員が、それぞれに定める面接日時(別紙参照)に各自集合のこと。	

## 7. 検定料の振込方法について

**検定料 : 9,800円**

この要項に添付されている検定料振込依頼書を使用し、下記の事項に従い、  
**平成29年11月24日(金)から平成29年12月14日(木)までに振り込むこと。**

取扱金融機関	都市銀行、信託銀行、地方銀行、信用金庫、農業協同組合、ゆうちょ銀行(郵便局)  ※金融公庫での振り込みは不可能。  ※ゆうちょ銀行(郵便局)での振り込みはゆうちょ銀行の口座からのみ可能。  ※詳しくは振り込みを依頼する店舗に問い合わせのこと。
振込手数料	振込手数料は各自負担のこと。 ※三井住友銀行・本支店から振り込む場合は無料。
<p>&lt; 注意 &gt; ① ATMでの振り込みは不可能。金融機関窓口で納入すること。 ② 振り込みの際、返却されたB票、C票のうち、C票(氏名記入、収納印のあるもの)を「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」(15頁)に貼付して提出。 (B票は本人控え)</p>	

### 【注意事項】

・願書受付後はいかなる理由があっても書類の変更・返還はしない。  
また次の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済みの検定料は返還しない。

- ① 検定料を振り込み出願したが、受理されなかった場合
- ② 検定料を振り込んだが、出願に必要な書類を提出しなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

< 上記①～③に該当した場合の返還請求の方法 >

本学所定の用紙「検定料返還請求願(研究生・科目等履修生用)」を本学入試情報サイトよりダウンロードし、必要事項を記入、「C票」を添付して

東京藝術大学戦略企画課経理係 (〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8) まで郵送すること。

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた金額になる。

※検定料を振り込んだ際に発生した手数料は返還対象外である。

※返還請求願受領後、返還金の振り込みまで通常約2～3ヶ月を要する。

※返還請求願の提出期限は**平成30年3月31日(土)**とする。期限までに提出がない場合、**検定料は返還しない。**

## 8. 履修の決定及び入学手続

履修の可否及び入学手続については、3月中に大学から文書で通知する。

入学手続き	3月下旬予定		
納入金	入学手続時	入学料	28,200円（入学手続き後は、入学料の返還はしない）
	入学後	授業料	1単位につき14,800円 (例:1科目2単位の場合/14,800円×2=29,600円)

※ その他の提出書類等については、大学からの通知文で指示する。

※ 教室場所 及び 授業時間(上野校地)  
・美術学部中央棟 1・2階、総合工房棟B棟  
・1限 9:00～10:30 2限 10:40～12:10 3限 13:00～14:30 4限 14:40～16:10 5限 16:20～17:50

科目によっては、時間割(曜日・時限・テーマ)等が変更となる場合があるので、**入学後に必ず履修科目を再確認すること。**  
又、時間割変更時、履修を許可された科目でも事情により履修ができない場合は、履修生の申し出によりこれを取消すことが可能。

### 【注意事項】

- ・この募集要項発行後に納入金額が変更された場合は、変更後の額による。
- ・履修を許可された科目でも、事情により履修ができない場合は、履修生の申し出によりこれを取消すことができる。ただし、**納入済みの授業料等の返還はしない。**

## 9. その他

- ・外国人については、履修が認められても「留学」の在留資格には該当しないので注意すること。
- ・学生旅客運賃割引制度(学割)は適用されない。
- ・成績証明書の発行は申請のあった場合のみとし、前期・後期ともに成績発表日以降とする。  
(前期:9月下旬、後期:3月下旬)

以上

### 【科目等履修生募集に関するお問合せ先】

東京藝術大学 美術学部教務係

TEL: 050-5525-2124

email: bijutsu.kyomukakari@ml.geidai.ac.jp

平成30年度 東京藝術大学 美術学部  
**科目等履修生(一般) 願 書**

フリガナ				男・女
氏 名				
生年月日	昭和 平成	年	月	日 (満 歳)
本籍地 (県名・国名)				
現住所 (連絡先)	〒 ー			
携帯電話等の連絡先			e-mail	
略 歴				
★本学出身者 在学時学生番号	学部		修士	博士
学 歴 (高校卒業から)	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
職 歴	年 月			
	年 月			
	年 月			
賞 罰				

【写真貼付】  
 ・タテ4cm×ヨコ3cm  
 ・脱帽上半身正面向  
 ・3ヶ月以内に撮影したものを

履修希望科目							※大学記入欄
科目名	期間	曜日	時限	担当教員名	単位	備考	判 定
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						

※ 該当する期間に☑を記入してください。

以上の記載事項に相違ありません。

平成 年 月 日 氏 名 :

㊞

# 健康診断書

※出願前、3ヶ月以内に証明したもの

氏名： \_\_\_\_\_

視力		聴力		結核（胸部X線検査）	その他の疾病及び異常
左	右	左	右		

診断の結果、上記のとおり相違ないことを証明する。

平成      年      月      日

住所(所在地)

医療機関名

医 師 名 印

★本学卒業者のうち平成29年4月に本学の定期健康診断を受けたものは、診断書の提出は不要。

..... (以下 大学記入) .....

## 【 所 見 】

教員名 <span style="float: right;">印</span>
教員名 <span style="float: right;">印</span>
教員名 <span style="float: right;">印</span>

平成30年度科目等履修生(一般)  
対象科目講義概要一覧

科目名	西洋建築史Ⅰ	担当教員	野口 昌夫	学期	前期												
<p>古代ギリシャ、ローマの壮大な建築の規準となっていたオーダーがルネッサンス期以降になって再び力強く継承され古典建築の言語体系が再構築されていく過程をバロック期まで見届ける。 一方、キリスト教聖堂建築の流れとして、初期キリスト教建築とビザンティン建築からプレロマネスクまでを概説する。</p>																	
<table border="0"> <tr> <td>1 西洋建築史を学ぶにあたって</td> <td>7 古代ローマ建築: ヴィラ・アドリアーナ</td> </tr> <tr> <td>2 古代ギリシャ建築: 神殿とオーダー</td> <td>8 初期キリスト教建築: 概説</td> </tr> <tr> <td>3 古代ギリシャ建築: アゴラの構成</td> <td>9 初期キリスト教建築: ラヴェンナの聖堂</td> </tr> <tr> <td>4 古代ギリシャ建築: 都市計画</td> <td>10 ビザンティン建築: 概説</td> </tr> <tr> <td>5 古代ローマ建築: 概説</td> <td>11 ビザンティン建築: ハギア・ソフィア</td> </tr> <tr> <td>6 古代ローマ建築: パンテオンとコロセウム</td> <td>12 プレ・ロマネスク建築: 概説</td> </tr> </table>						1 西洋建築史を学ぶにあたって	7 古代ローマ建築: ヴィラ・アドリアーナ	2 古代ギリシャ建築: 神殿とオーダー	8 初期キリスト教建築: 概説	3 古代ギリシャ建築: アゴラの構成	9 初期キリスト教建築: ラヴェンナの聖堂	4 古代ギリシャ建築: 都市計画	10 ビザンティン建築: 概説	5 古代ローマ建築: 概説	11 ビザンティン建築: ハギア・ソフィア	6 古代ローマ建築: パンテオンとコロセウム	12 プレ・ロマネスク建築: 概説
1 西洋建築史を学ぶにあたって	7 古代ローマ建築: ヴィラ・アドリアーナ																
2 古代ギリシャ建築: 神殿とオーダー	8 初期キリスト教建築: 概説																
3 古代ギリシャ建築: アゴラの構成	9 初期キリスト教建築: ラヴェンナの聖堂																
4 古代ギリシャ建築: 都市計画	10 ビザンティン建築: 概説																
5 古代ローマ建築: 概説	11 ビザンティン建築: ハギア・ソフィア																
6 古代ローマ建築: パンテオンとコロセウム	12 プレ・ロマネスク建築: 概説																
<p>※参考図書:『西洋建築史図表』(日本建築学会編 彰国社) ※「西洋建築史Ⅰ」と「西洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること</p>																	

科目名	西洋建築史Ⅱ	担当教員	野口 昌夫	学期	後期												
<p>1000年以降のロマネスク、ゴシックに至る過程を追う。後期のルネサンス建築以降は、その主流をなすイタリア建築に重点を置き、ブルネレスキ、アルベルティ、ミケロツォから、ブラマンテ、ミケランジェロを経て、マニエリスム期のパラディオとジュリオ・ロマーノ、そしてバロック期のボロミーニ、ベルニーニ、ガッリーニにいたる作品を概説する。</p>																	
<table border="0"> <tr> <td>1 ロマネスク建築: 概説</td> <td>7 ルネサンス建築: 盛期ルネサンス</td> </tr> <tr> <td>2 ロマネスク建築: イタリアのロマネスク聖堂</td> <td>8 マニエリスム: アンドレア・パラディオ</td> </tr> <tr> <td>3 ゴシック建築: 概説</td> <td>9 マニエリスム: ジュリオ・ロマーノ</td> </tr> <tr> <td>4 ゴシック建築: フランスのゴシック聖堂</td> <td>10 バロック建築: フランチェスコ・ボロミーニ</td> </tr> <tr> <td>5 ゴシック建築: イタリアのゴシック聖堂</td> <td>11 バロック建築: ジャンロレンツォ・ベルニーニ</td> </tr> <tr> <td>6 ルネサンス建築: 初期ルネサンス</td> <td>12 バロック建築: ガッリーノ・ガッリーニ</td> </tr> </table>						1 ロマネスク建築: 概説	7 ルネサンス建築: 盛期ルネサンス	2 ロマネスク建築: イタリアのロマネスク聖堂	8 マニエリスム: アンドレア・パラディオ	3 ゴシック建築: 概説	9 マニエリスム: ジュリオ・ロマーノ	4 ゴシック建築: フランスのゴシック聖堂	10 バロック建築: フランチェスコ・ボロミーニ	5 ゴシック建築: イタリアのゴシック聖堂	11 バロック建築: ジャンロレンツォ・ベルニーニ	6 ルネサンス建築: 初期ルネサンス	12 バロック建築: ガッリーノ・ガッリーニ
1 ロマネスク建築: 概説	7 ルネサンス建築: 盛期ルネサンス																
2 ロマネスク建築: イタリアのロマネスク聖堂	8 マニエリスム: アンドレア・パラディオ																
3 ゴシック建築: 概説	9 マニエリスム: ジュリオ・ロマーノ																
4 ゴシック建築: フランスのゴシック聖堂	10 バロック建築: フランチェスコ・ボロミーニ																
5 ゴシック建築: イタリアのゴシック聖堂	11 バロック建築: ジャンロレンツォ・ベルニーニ																
6 ルネサンス建築: 初期ルネサンス	12 バロック建築: ガッリーノ・ガッリーニ																
<p>※参考図書:『西洋建築史図表』(日本建築学会編 彰国社) ※「西洋建築史Ⅰ」と「西洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること</p>																	

平成30年度科目等履修生(一般)  
対象科目講義概要一覧

科目名	日本・東洋建築史Ⅰ	担当教員	光井 渉	学期	前期														
<p>「日本・東洋建築史」は、日本列島で展開した建築と都市・集落について概観するもので、前期開講のⅠでは主に中世以前の宗教建築と都市について扱います。</p> <p>講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、代表的な建築作品等の紹介を通じて多種多様な建築の形の意味とその背景にある技術の在り方を考えていきます。</p> <p>各回のテーマは下記のを予定しますが、進行状況に応じて適宜変更する可能性があります。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 日本の建築(ガイダンス)</td> <td>7 都市住宅の形(御所と寝殿造)</td> </tr> <tr> <td>2 建築の誕生(原始住居の住居)</td> <td>8 和様の感覚(平安時代の建築)</td> </tr> <tr> <td>3 美意識の誕生(神社建築の形式)</td> <td>9 災害と復興(大仏様)</td> </tr> <tr> <td>4 技術と空間(飛鳥・奈良時代の寺院1)</td> <td>10 禅宗の建築(禅宗様)</td> </tr> <tr> <td>5 空間の大型化と建築群(飛鳥・奈良時代の寺)</td> <td>11 中世的世界の建築(密教建築)</td> </tr> <tr> <td>6 都市の誕生(平城京と平安京)</td> <td>12 上野台地に残る歴史的建築</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13 試験</td> </tr> </table> <p>※教材(講義中に使用):光井渉・太記祐一『カラー版 建築と都市の歴史』(井上書院) を毎回の講義で使用するので、必ず入手して持参すること</p> <p>※参考図書:光井渉『日本の伝統木造建築』(市ヶ谷出版社)</p> <p>※「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること</p>						1 日本の建築(ガイダンス)	7 都市住宅の形(御所と寝殿造)	2 建築の誕生(原始住居の住居)	8 和様の感覚(平安時代の建築)	3 美意識の誕生(神社建築の形式)	9 災害と復興(大仏様)	4 技術と空間(飛鳥・奈良時代の寺院1)	10 禅宗の建築(禅宗様)	5 空間の大型化と建築群(飛鳥・奈良時代の寺)	11 中世的世界の建築(密教建築)	6 都市の誕生(平城京と平安京)	12 上野台地に残る歴史的建築		13 試験
1 日本の建築(ガイダンス)	7 都市住宅の形(御所と寝殿造)																		
2 建築の誕生(原始住居の住居)	8 和様の感覚(平安時代の建築)																		
3 美意識の誕生(神社建築の形式)	9 災害と復興(大仏様)																		
4 技術と空間(飛鳥・奈良時代の寺院1)	10 禅宗の建築(禅宗様)																		
5 空間の大型化と建築群(飛鳥・奈良時代の寺)	11 中世的世界の建築(密教建築)																		
6 都市の誕生(平城京と平安京)	12 上野台地に残る歴史的建築																		
	13 試験																		

科目名	日本・東洋建築史Ⅱ	担当教員	光井 渉	学期	後期														
<p>「日本・東洋建築史」は、日本列島で展開した建築と都市・集落について概観するもので、前期開講のⅠでは後期開講のⅡでは、主に中世以後の住宅建築と都市・集落、庶民住居について扱います。</p> <p>講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、社会的・技術的な背景とともに代表的な建築作品等を紹介し、現代の生活空間に継承されている多種多様な建築の形の意味を考えていきます。</p> <p>各回のテーマは下記のを予定しますが、進行状況に応じて適宜変更する可能性があります。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 舗設から部屋へ(中世住宅)</td> <td>7 現代都市の起源(城下町)</td> </tr> <tr> <td>2 もてなしの空間(座敷飾りと書院造)</td> <td>8 町に暮らす(町並と町家)</td> </tr> <tr> <td>3 綺麗と数寄(茶室)</td> <td>9 村に暮らす(農村と農家)</td> </tr> <tr> <td>4 近世住宅の完成(数寄屋)</td> <td>10 専用住居の誕生(武家住宅)</td> </tr> <tr> <td>5 戦乱と惣構(中世京都と土豪屋敷)</td> <td>11 賑わいの空間(近世寺社境内)</td> </tr> <tr> <td>6 権力の象徴(城郭建築)</td> <td>12 芸大周辺の歴史的建築見学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13 試験</td> </tr> </table> <p>※教材(講義中に使用):光井渉・太記祐一『カラー版 建築と都市の歴史』(井上書院) を毎回の講義で使用するので、必ず入手して持参すること</p> <p>※参考図書:光井渉『日本の伝統木造建築』(市ヶ谷出版社)</p> <p>※「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること</p>						1 舗設から部屋へ(中世住宅)	7 現代都市の起源(城下町)	2 もてなしの空間(座敷飾りと書院造)	8 町に暮らす(町並と町家)	3 綺麗と数寄(茶室)	9 村に暮らす(農村と農家)	4 近世住宅の完成(数寄屋)	10 専用住居の誕生(武家住宅)	5 戦乱と惣構(中世京都と土豪屋敷)	11 賑わいの空間(近世寺社境内)	6 権力の象徴(城郭建築)	12 芸大周辺の歴史的建築見学		13 試験
1 舗設から部屋へ(中世住宅)	7 現代都市の起源(城下町)																		
2 もてなしの空間(座敷飾りと書院造)	8 町に暮らす(町並と町家)																		
3 綺麗と数寄(茶室)	9 村に暮らす(農村と農家)																		
4 近世住宅の完成(数寄屋)	10 専用住居の誕生(武家住宅)																		
5 戦乱と惣構(中世京都と土豪屋敷)	11 賑わいの空間(近世寺社境内)																		
6 権力の象徴(城郭建築)	12 芸大周辺の歴史的建築見学																		
	13 試験																		

平成30年度科目等履修生(一般)  
対象科目講義概要一覧

科目名	建築概論 I	担当教員	中山 英之	学期	前期
<p>前半／建築設計を組み立てていく思考の多様性を、いろいろな角度から考えていきます。 後半／ 建築をめぐる議論を広く考察します。</p> <p>前半／中山 英之 1 インTRODクシヨン 2 絵画と建築 3 写真と建築 4 映画と建築 5 ファッションと建築 6 童話や文学と建築 7 音楽や映像と建築 8 プロダクトデザインと建築 (順番や内容は変動します)</p> <p>後半／藤村 龍至 9 意匠と建築 10 設計プロセスと建築 11 作家性と建築 12 思想と建築 13 大衆と建築 14 技術と建築 15 建築家とはなにか</p>					

科目名	美学史概説 I	担当教員	川瀬 智之	学期	前期
<p>この授業では、西洋における美学の歴史を、古代ギリシャから近現代のドイツやフランスに至る代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。また場合によっては、それらの思想と、特に近現代の美術作品との関連についても論じていく。それによって、西洋の古代以来の美学思想が、いかに芸術の制作や鑑賞に対して大きな影響を及ぼしてきたかを理解することができる。より具体的には、プラトン、アリストテレス、プロティノス、レッシング、カント、ヘーゲル、エマソン、ボードレー、ニーチェらの思想を扱う。</p>					

科目名	美学史概説 II	担当教員	川瀬 智之	学期	後期
<p>この授業では、西洋や東洋の美学の歴史を、近代から現代にかけてのドイツやフランス、日本の代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。また場合によっては、それらの思想と、美術作品との関連についても論じていく。それによって、美学思想が、いかに芸術の制作や鑑賞にかかわっているかを理解することができる。より具体的には、マリタン、ハイデッガー、ベンヤミン、サルトル、メルロ=ポンティ、マルティネ、鈴木大拙、唐木順三らの芸術論について論じる。</p>					

科目名	美学特講A	担当教員	林 卓行	学期	前期
<p>1960年代末のミニマリズムからポスト・ミニマリズム、そしてそれ以降への移行期をめぐる試論。 近年たてつけに再検討がなされている『アンチ・イリュージョン』展(ホイットニー美術館、1969年)などを振り返ることからはじめ、これらに参加していたアーティストたちの作品について、こんにちの視点から再考する。とりわけ2018年度は、同年秋にニューヨーク近代美術館での回顧展が予定されているブルース・ナウマンを中心に検討する。 前期のAでは各展覧会についての考察、後期のBでは各アーティストとその作品に関する議論を中心に行う予定。 ※講義形式であるが、英語原典テキストの読解を伴う授業となる予定。</p>					



平成30年度科目等履修生(一般)  
対象科目講義概要一覧

科目名	美学特講B	担当教員	林 卓行	学期	後期
<p>1960年代末のミニマリズムからポスト・ミニマリズム、そしてそれ以降への移行期をめぐる試論。 近年たてつけに再検討がなされている『アンチ・イリュージョン』展(ホイットニー美術館、1969年)などを振り返ることからはじめ、これらに参加していたアーティストたちの作品について、こんにちの視点から再考する。 とりわけ2018年度は、同年秋にニューヨーク近代美術館での回顧展が予定されているブルース・ナウマンを中心に検討する。 前期のAでは各展覧会についての考察、後期のBでは各アーティストとその作品に関する議論を中心に行う予定。 ※講義形式であるが、英語原典テキストの読解を伴う授業となる予定。</p>					

科目名	日本美術史特講 I	担当教員	佐藤 道信	学期	前期
<p>”グローバル”日本美術史(2) 昨年行った同テーマの授業に引き続き、(2)として日本美術の歴史と現在を、世界動向の中で捉えるヴィジョンを提起したい。個別テーマはオムニバス形式で行なう。 ○日本と西洋 ・西洋留学—日本洋画の新派と旧派 ・美術史のなかの浮世絵 ・ボストン美術館の日本美術コレクション ・ベルツ・コレクション ・帝室技芸員と帝国美術院 ・ポスト・ジャポニスム期の日本美術 ・歴史の谷間—河鍋暁斎・柴田是真・渡辺省亭</p>					

科目名	日本美術史特講 II	担当教員	佐藤 道信	学期	後期
<p>”グローバル”日本美術史(2) 昨年行った同テーマの授業に引き続き、(2)として日本美術の歴史と現在を、世界動向の中で捉えるヴィジョンを提起したい。個別テーマはオムニバス形式で行なう。 ○日本と東アジア ・岡倉天心 ・高橋健三 ・三菱財閥—岩崎弥太郎ほか ・大倉財閥—大倉喜七郎ほか ・自国画と西洋画—アジアからの留学生 ・模写、模刻、模造、復元</p>					

科目名	西洋美術史概説 II	担当教員	越川 倫明	学期	前期
<p>西洋美術史の概説を行ないます。 扱う時代的範囲はおおよそ中世後期から17世紀とし、主としてイタリア絵画の動向を見ていきます。 それぞれの時代の美術の根本的な特性や美術家の関心の方向性を把握することに主眼を置きます。</p>					

平成30年度科目等履修生(一般)  
対象科目講義概要一覧

科目名	西洋美術史概説Ⅲ	担当教員	佐藤 直樹	学期	後期
<p>西洋美術史におけるルネサンス以降の美術を講義します。 アルプス以北の芸術家を中心に各時代の重要な作家、美術作品における様式的特徴、および芸術家同士の影響関係などを中心に見ていきます。</p>					

科目名	美術解剖学 人とかたち	担当教員	宮永 美知代	学期	前期
<p>人体の外形と内部構造の関係の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。 美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、造形表現された人体像の美性について論じる。 ※ 前期と後期を併せて履修することが望ましいが、前期のみ履修することも可能。 ただし、後期科目は前期を履修した者に限る。</p>					

科目名	美術解剖学 人とかたち	担当教員	宮永 美知代	学期	後期
<p>人体の外形と内部構造の関係の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。 美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、造形表現された人体像の美性について論じる。 ※ 前期と後期を併せて履修することが望ましいが、前期のみ履修することも可能。 ただし、後期科目は前期を履修した者に限る。</p>					

科目名	デザイン概説Ⅰ	担当教員	藤崎 圭一郎	学期	前期
<p>21世紀のデザイン。エシカル(倫理的)とクリティカル(批評的)という2つの軸から現代において「デザイン」とは何かを考える。 ※「デザイン概説Ⅰ」と「デザイン概説Ⅱ」は併せて履修すること</p>					

科目名	デザイン概説Ⅱ	担当教員	藤崎 圭一郎	学期	後期
<p>19～21世紀デザイン史をもとに、「近代」とは何かを考える。 ※「デザイン概説Ⅰ」と「デザイン概説Ⅱ」は併せて履修すること</p>					

## 対象開設予定科目及び面接日時

科 目 等						面 接	
授 業 科 目 名	期 間	担 当 教 員	曜 日	時 限	単 位	日 時	場 所
西洋建築史Ⅰ	前期	野口 昌夫	月	3	2	1月12日(金) 16:30～	野口研究室
							総合工房棟 4階 B-410 室
西洋建築史Ⅱ	後期	野口 昌夫	月	3	2	1月12日(金) 16:30～	野口研究室
							総合工房棟 4階 B-410 室
日本・東洋建築史Ⅰ	前期	光井 渉	金	3	2	1月12日(金) 10:30～	光井研究室
							総合工房棟 4階 B-412 室
日本・東洋建築史Ⅱ	後期	光井 渉	金	3	2	1月12日(金) 10:30～	光井研究室
							総合工房棟 4階 B-412 室
建築概論Ⅰ	前期	中山 英之	金	2	2	1月12日(金) 16:30～	中山研究室
							総合工房棟 4階 B-423 室
美学史概説Ⅰ	前期	川瀬 智之	金	4	2	1月 5日(金) 13:30～	川瀬研究室
							中央棟3階
美学史概説Ⅱ	後期	川瀬 智之	金	4	2	1月 5日(金) 13:30～	川瀬研究室
							中央棟3階
美学特講A	前期	林 卓行	火	5	2	1月 9日(火) 13:00～16:00 18:00～19:00	林研究室
							中央棟3階
美学特講B	後期	林 卓行	火	5	2	1月 9日(火) 13:00～16:00 18:00～19:00	林研究室
							中央棟3階

## 対象開設予定科目及び面接日時

科 目 等						面 接	
授 業 科 目 名	期 間	担 当 教 員	曜 日	時 限	単 位	日 時	場 所
日本美術史特講Ⅰ	前期	佐藤 道信	火	3	2	1月18日(木) 13:00～	佐藤研究室
							中央棟3階
日本美術史特講Ⅱ	後期	佐藤 道信	火	3	2	1月18日(木) 13:00～	佐藤研究室
							中央棟3階
西洋美術史概説Ⅱ	前期	越川 倫明	火	3	2	1月 9日(火) 18:00～	西洋美術史研究室
							中央棟3階
西洋美術史概説Ⅲ	後期	佐藤 直樹	火	3	2	1月 9日(火) 18:00～	西洋美術史研究室
							中央棟3階
美術解剖学 人とかたち (前期)	前期	宮永 美知代	水	3	2	1月 9日(火) 15:00～	美術教育研究室
							地下1階
美術解剖学 人とかたち (後期)	後期	宮永 美知代	水	3	2	1月 9日(火) 15:00～	美術教育研究室
							地下1階
デザイン概説Ⅰ	前期	藤崎 圭一郎	金	4	2	1月10日(水) 13:30～	企画理論研究室
							総合工房棟3階
デザイン概説Ⅱ	後期	藤崎 圭一郎	金	4	2	1月10日(水) 13:30～	企画理論研究室
							総合工房棟3階

## 《面接について》

※願書提出後、上記の指定日時に面接を必ず受けること。

※面接を受けない場合は失格とし、納入済みの検定料も返却しない。

**【所在地・交通案内】**

上野校地 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

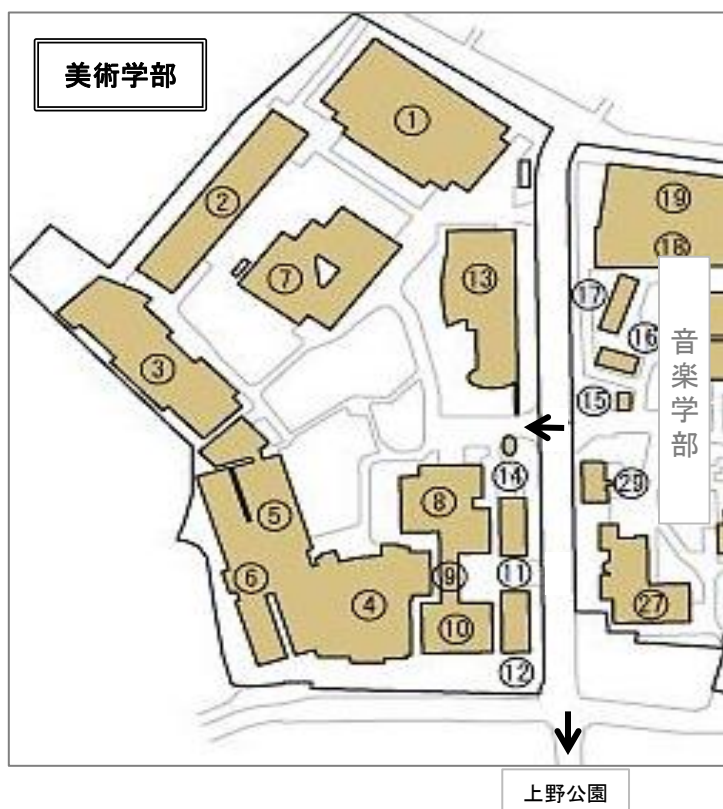


**交通機関**

【 J R 】 上野駅・鶯谷駅 …下車徒歩10分

【地下鉄】 銀座線・日比谷線 …上野駅下車徒歩15分、千代田線 …根津駅下車徒歩10分

【京成電鉄】 京成上野駅 …下車徒歩15分



- ① 絵画棟
- ② 彫刻棟
- ③ 金工棟
- ④ 総合工房棟(A棟)
- ⑤ 総合工房棟(B棟)
- ⑥ 総合工房棟(C棟)
- ⑦ 中央棟
- ⑧ 附属図書館
- ⑨⑩ 工事中
- ⑪ 陳列館
- ⑫ 正木記念館
- ⑬ 大学美術館
- ⑭ 守衛所

※ 志願者は、下記の金額を締切日までに必ず振り込み、C票は所定の提出用紙に貼付し、他の書類と共に東京藝術大学へ郵送のこと。

### 検定料振込依頼書[30美術学部科目等履修生(一般)]

切り離して、金融機関に提出してください。

A票	B票	C票																														
<p style="text-align: center;"><b>振込依頼書</b></p> <p style="text-align: center;">(「東京藝術大学」入学試験検定料)</p>	<p style="text-align: center;"><b>振込金受取書</b></p> <p style="text-align: center;">(「東京藝術大学」入学試験検定料)</p>	<p style="text-align: center;"><b>「東京藝術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書</b></p> <p style="text-align: center;">科目等履修生(一般)</p>																														
<p>金融機関取扱期限 平成29年11月24日(金)～平成29年12月14日(木)</p>																																
<table border="1"><tr><td>ご依頼日</td><td>平成 年</td></tr><tr><td>振込先</td><td>三井住友銀行</td></tr><tr><td>預金種目</td><td>普通</td></tr><tr><td>受取人</td><td>(フリガナ) トウキョウゲイ (おなまえ) 国立大学法人 東京芸</td></tr><tr><td>依頼人</td><td>整理番号 (フリガ)</td></tr><tr><td>(おところ) (電話)</td><td></td></tr></table>	ご依頼日	平成 年	振込先	三井住友銀行	預金種目	普通	受取人	(フリガナ) トウキョウゲイ (おなまえ) 国立大学法人 東京芸	依頼人	整理番号 (フリガ)	(おところ) (電話)			<table border="1"><tr><td colspan="3">科目等履修生</td></tr><tr><td>百万</td><td>千</td><td>円</td></tr><tr><td></td><td>¥ 9 8 0 0</td><td></td></tr><tr><td colspan="3">三井住友銀行 東京公務部</td></tr><tr><td colspan="3">東京芸術大学</td></tr><tr><td colspan="3">(フリガナ)</td></tr></table>	科目等履修生			百万	千	円		¥ 9 8 0 0		三井住友銀行 東京公務部			東京芸術大学			(フリガナ)		
ご依頼日	平成 年																															
振込先	三井住友銀行																															
預金種目	普通																															
受取人	(フリガナ) トウキョウゲイ (おなまえ) 国立大学法人 東京芸																															
依頼人	整理番号 (フリガ)																															
(おところ) (電話)																																
科目等履修生																																
百万	千	円																														
	¥ 9 8 0 0																															
三井住友銀行 東京公務部																																
東京芸術大学																																
(フリガナ)																																
<p>納印</p>	<p style="text-align: center;"><b>見本</b></p> <p>この用紙はホームページ掲載用の見本です。</p> <p>この見本は使用せず、必ず検定料振込依頼書の原本を入手してください。</p> <p>原本は、募集要項の原本(紙媒体)に含まれています。</p> <p>※募集要項の原本を入手する方法については、以下のURLをご確認ください。</p> <p><a href="http://admissions.geidai.ac.jp/data/request/">http://admissions.geidai.ac.jp/data/request/</a></p>	<p>納印</p> <p style="text-align: center;">収入 印紙</p>																														
<p>※【取扱金融機関へのお願い】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>5桁の整理番号は、氏名頭部へ連続して打電して下さい。</li><li>収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印して下さい。</li><li>B・C票は、必ず依頼人へお返し下さい。</li><li>三井住友銀行本支店にて振り込む場合の振込手数料は無料となります。</li></ol>	<p>(取扱金融機関保管)</p>	<p>(志願者保管)</p> <p>(願書同封用)</p>																														

# 入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙

(平成30年度 美術学部 科目等履修生(一般))

NO		← 大学記入欄 (記入しない)
フリガナ		
氏 名		
自宅電話番号	(	)
携帯電話番号	(	)
メールアドレス		@

※朱線枠内を必ず記入のこと。

銀行振込をした後、返却されたC票を  
右の『C票貼付箇所』に貼付すること。

※ C票に銀行の領収印が押印されていることを  
必ず確認すること。

**押印がない場合は、失格となる。**

## C 票貼付箇所

※はがれないようにしっかり  
糊付けすること。

※銀行の領収印が押印されて  
いることを確認すること。